

平成19年7月11日  
九州農政局

梅雨前線による大雨(7/2以降)に関する農業関係被害と九州農政局等の対応について  
(第1報)

1 気象概況(気象庁情報)

- ・ 7月2日未明より対馬海峡付近にある梅雨前線の活動が活発になり、九州北部を中心に激しい雨が降り、その後、3日～4日にかけて梅雨前線が南下したことから、九州各地で激しい雨となった。
- ・ 7月6日には、未明より梅雨前線が九州北部地方に停滞し、九州西海上から発達した雨雲が次々に九州北部地方に流れ込み非常に激しい雨となった。特に、熊本県では、7月5日の降り始めの18時から7日18時までに、俵山で521mm、甲佐で414mmの大雨となった。

2 農業関係被害

(1) 農業関係被害の概要

九州北部を中心に、水稲、大豆及び野菜等の冠水、浸水、土砂流入による農作物の被害が発生。現在調査中。

農地・農業用施設被害については、九州各県で655カ所、被害額は11.2億円。(7月10日現在なお、引き続き調査中)

(2) 作物別の被害の概要

水稲の冠水等  
野菜(アスパラガス等)の浸水等  
花き、たばこ等の浸水等

3 九州農政局等の対応

(1) 九州農政局

災害に関する情報収集(7月2日～)  
農作物被害応急調査(7月9日～)  
災害応急用ポンプの貸し出し

(2) 農林漁業金融公庫

福岡支店、長崎支店、熊本支店、宮崎支店、鹿児島支店の計5支店において相談窓口を設置(7月3日)

(事務局)

九州農政局生産経営流通部農産課

TEL 096-353-3561(代表)

FAX 096-324-1439

農産課長 川名 健雄(内 4210)

課長補佐(総務) 田浦 英治(内 4211)

調整係長 田尻 雅久(内 4291)